

事前評価個表

整理番号	2
------	---

地域（地区）名	あばしりせいぶ 網走西部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	もんべつし 紋別市ほか6市町村
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道東部のオホーツク海側に位置し、オホーツク総合振興局管内の西部を区域とする。本地区の内陸部には南北に連なる北見山地、海側を中心にサロマ湖をはじめとする大小の湖沼群、オホーツク海に流れ込む渚滑川及び湧別川の2本の1級河川を有する。</p> <p>本地区の総面積474千haのうち、森林面積は380千ha（森林率80%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は79千ha（人工林率41%）で、トドマツが53%、カラマツが28%を占めており、年齢構成はⅧ年齢級以上が71%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は752kmで、公道等を含む林内道路密度は10.2m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち23千ha（人工林の29%）がⅦ年齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、網走西部地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：35,997ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：9,860m 林業生産基盤整備道、林業専用道</p> <p>総事業費：10,370,506千円（税抜き9,602,321千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 3.04 （総便益（B）= 50,685,130千円、総費用（C）= 16,665,121千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林を多く保有し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な林業生産基盤整備道の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 北海道

地域(地区)名: 網走西部^{あばしり せいぶ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	9,100,074	
	流域貯水便益	3,344,873	
	水質浄化便益	7,176,247	
山地保全便益	土砂流出防止便益	16,631,418	
環境保全便益	炭素固定便益	5,922,711	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	22,590	
	木材利用増進便益	5,421	
	木材生産確保・増進便益	7,583,124	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	929	
	森林整備促進便益	897,743	
総 便 益 (B)		50,685,130	
総 費 用 (C)		16,665,121	
費用便益比	$B \div C = \frac{50,685,130}{16,665,121} = 3.04$		

森林環境保全整備事業 網走西部地域（北海道）

